㊺「ほっとここ」（倉吉市）

地域のミライをみんなでつくろう！
ミラ・クル・とっとり運動

幅広い世代の居場所づくり

「ここに来るとほっとする」。そんな空間づくりを目指して活動する倉吉市越殿町の「ほっとここ」が開設から今年で10年を迎えた。子ども食堂だけでなく、悩み相談や居場所づくりなど利用者一人一人に寄り添う活動を続けている。

食事や学習支援、多世代交流を通して地域のつながりをつくることを目的に田中昭子さん(77)が、旧医院を改装し2016年12月に開設した。

子ども食堂は毎月2回、午前11時半から午後8時までオープン。地産地消や旬のものにこだわった献立を田中さんが考え、ボランティアと作り上げる。「利用者の笑顔を見ると頑張ろうと思える」と田中さん。手作り弁当のおいしさが口コミで広がり、多いときには1日400食以上を提供することもあるという。

夏休みには地元の小学生らが自習室として利用。週1回の認知症予防教室の場にもなっており、地域には欠かせない存在に。「ここにきたら大丈夫」という期待に応えるため幅広い年代に合わせた居場所づくりを続けている。

田中さんは「周りの支援や求める声があるから続けられる。多くの人に寄り添えるよう頑張りたい」と意気込んだ。

県がふるさと納税の仕組みを活用して地域づくり団体を応援する「ギフ鳥」の寄付対象団体にも登録され、活動への寄付を募っている。



一つ一つ丁寧に弁当を仕上げるボランティア

「ギフ鳥」はこちらへ▶

(C) 新日本海新聞社　無断複製・転載を禁じます